

5/26～ 性的マイノリティの人権（第1回人権講座）

「社会には、男性と女性しかいません。」

いいえ、違います。

「異性を好きになり、結婚し家庭を作るのが当たり前です。」

いいえ、違います。

何故なら、人の性のあり方はさまざまな要素から形づくられているから、一人ひとりに個性があるように、性の表れ方や組み合わせも人によって様々です。

皆さんは、LGBTQ（エル・ジー・ビー・ティー・キュー）という言葉を知っていますか。
好きになる性が必ずしも異性のみでない人、心の性と体の性が異なる人などがいます。

心の性が女性で女性を好きになる人をレズビアン、心の性が男性で男性を好きになる人をゲイ、両方の性を好きになる人をバイセクシュアルと呼んでいます。心の性と体の性が異なる人、性別に違和感をもつ人をトランスジェンダーと呼びます。また、自身の性を何と考えるか、どんな性を好きになるかが定まっていない、若しくは意図的に定めていないクエスチョニングと呼ばれる人もいます。これらの頭文字をまとめた言葉が性的マイノリティの総称の一つです。

近年、LGBTQなど性的マイノリティについて社会的関心が高まっている一方で、様々な困りごとに直面したり、誰にも相談できずに生きづらさを感じていたりしている当事者が少なくありません。

ALLY（アライ）は英語での「Ally（同盟/支援者）」が語源で、性の多様性を理解して自分にできることは何かを考えて行動する人のことをいいます。

大切な人が打ち明けてくれた時に、まずはそれを受け止めて話を聞いてあげるだけでもそれはアライとしてのアクションになります。

今まで当然と考えられてきた認識や習慣を見直して LGBTQ をはじめとする性的マイノリティに関する理解を深めていただき、みんなで性の多様性が尊重される社会を作っていきましょう。

最後に人権講座開催のお知らせです。

丹波市では、今年度もたんば人権講座を開催します。

第一回は、「性的マイノリティの人権」についての講座です。

開催日は6月27日（金曜日） 19時から20時30分まで

場所は氷上住民センター大会議室で開催します。

「多様な人々が安心して生活できる社会に～トランスジェンダーのわが子に学ぶ～」をテーマに講師ご自身のお子さんからカミングアウトを受け、初めてLGBTQの存在や当事者の思いに気づき、自分にできることは何かを考え、アライとして子どもさんから学んだことや自身の思いを交えた講演をしていただきます。

詳しいことは、丹波市人権啓発センター 電話 82-0242 までお尋ねください。